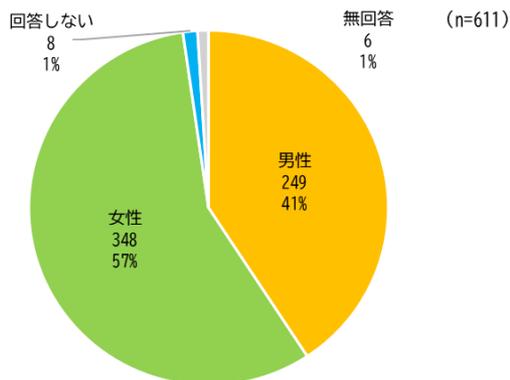


## 1 属性

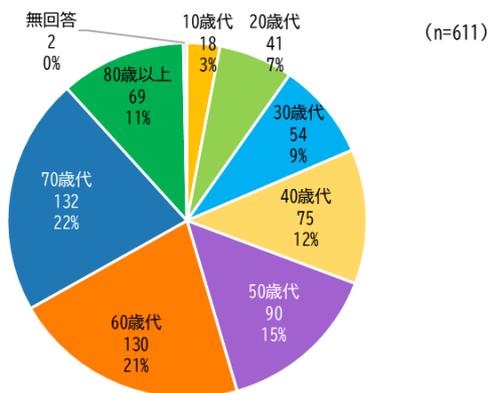
### ■ 性別

- 男性41%に対して女性57%で女性の回答比率が高い。



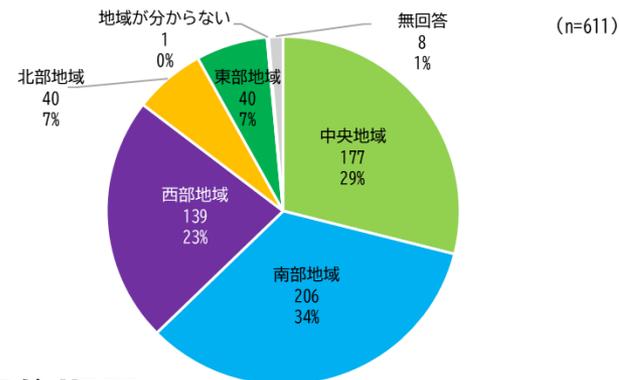
### ■ 年齢

- 70歳代が22%で最も多く、次いで60歳代、50歳代の順に多く、60歳以上の回答割合が半数以上を占める。



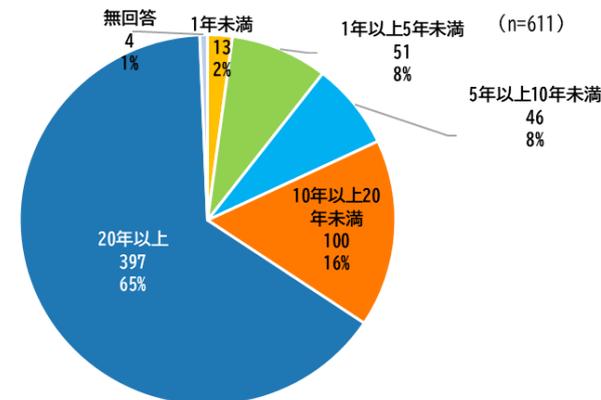
### ■ 現在の居住地

- 南部地域34%、中央地域29%、西部地域23%の順に多い。



### ■ 町内居住期間

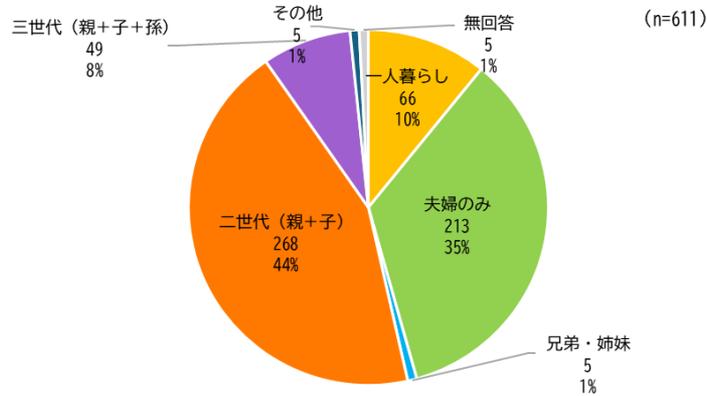
- 20年以上が65%で最も多く、次いで10年以上20年未満が16%、5年以上10年未満8%の順に多い。



# 1 属性

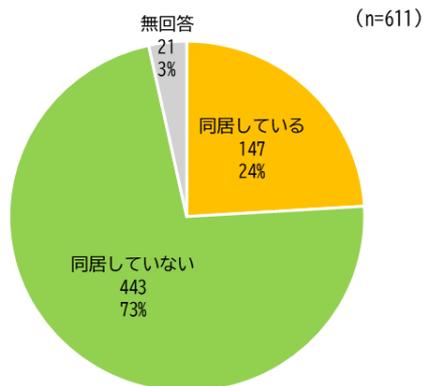
## ■ 世帯構成

- 回答者の世帯構成は、「二世帯（親＋子）」が最も多く、44%を占めており、次いで夫婦のみの2人世帯が35%、一人暮らし10%の順に多い。



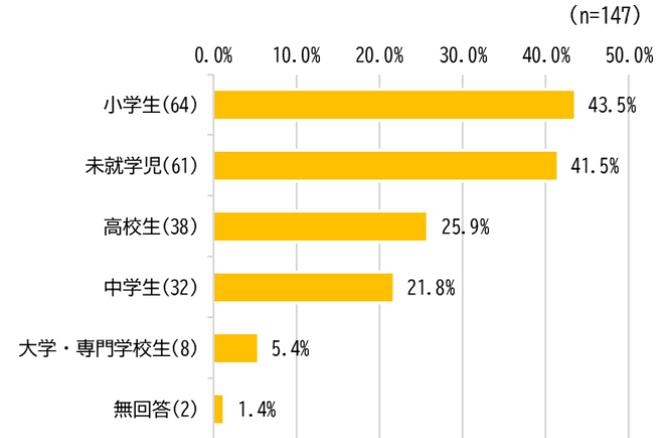
## ■ 18歳以下の子どもとの同居

- 回答者の24%が同居している。



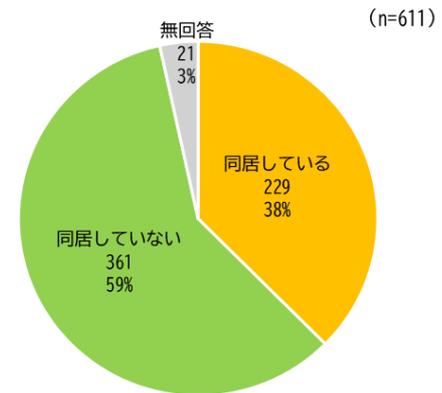
## ■ 同居する子どもの年代

- 小学生の子どもがいる世帯が43.5%と最も多く、次いで未就学児がいる世帯が41.5%と多い。



## ■ 65歳以上高齢者との同居

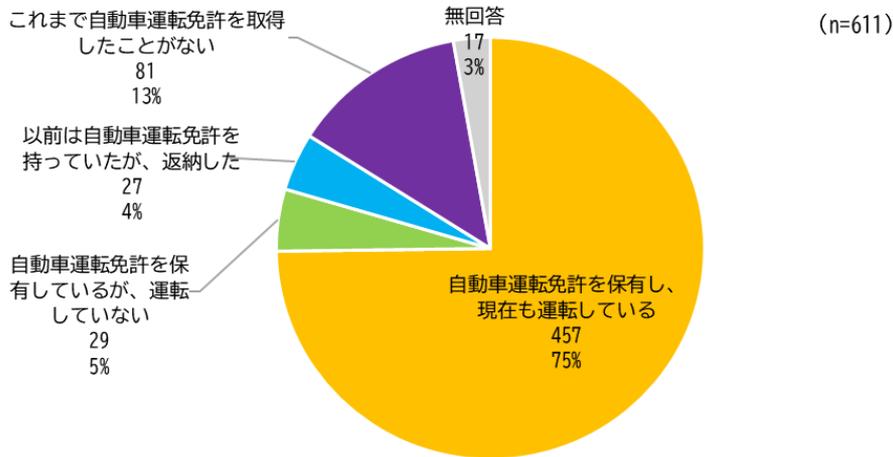
- 回答者の38%が同居している。



# 1 属性

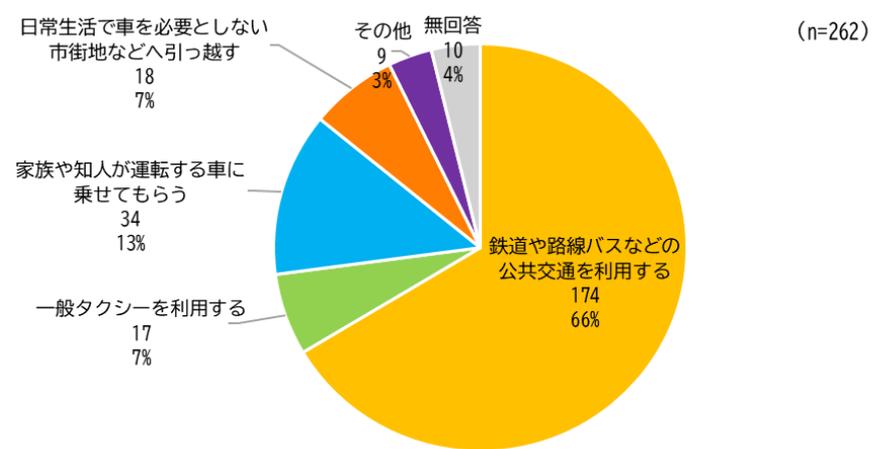
## ■ 運転免許の有無

- 「自動車運転免許を持っており、現在も運転している」という回答が最も多く、75%を占める。



## ■ 自動車の運転が困難になった場合

- 「路線バスなどの公共交通を利用する」と回答した方が66%で最も多く、次いで「家族や知人が運転する車に乗せてもらう」が13%と多い。



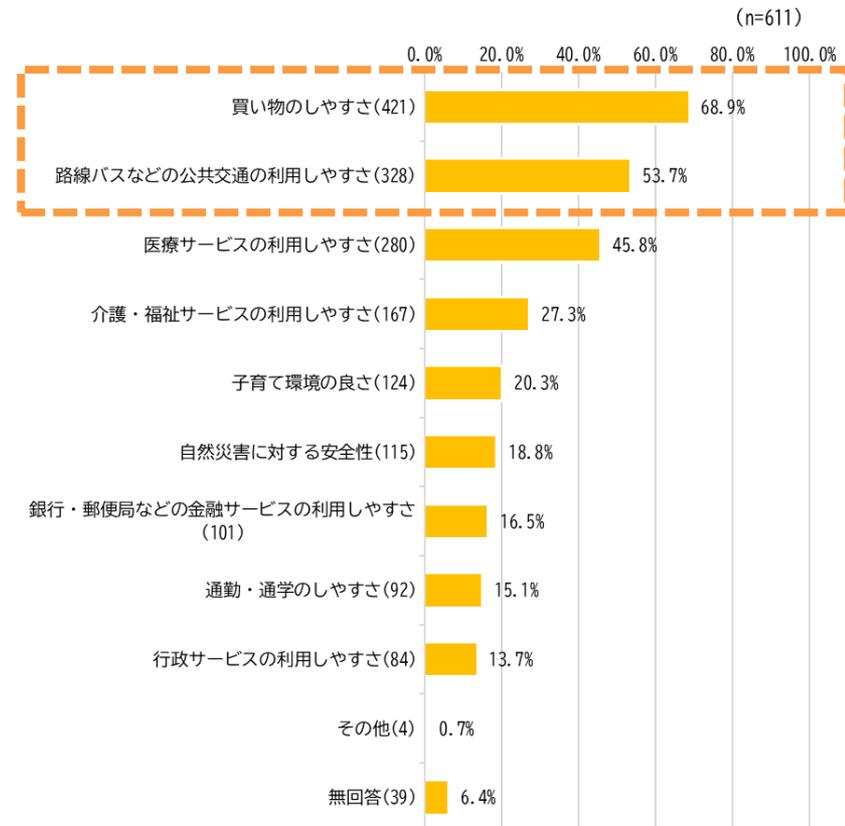
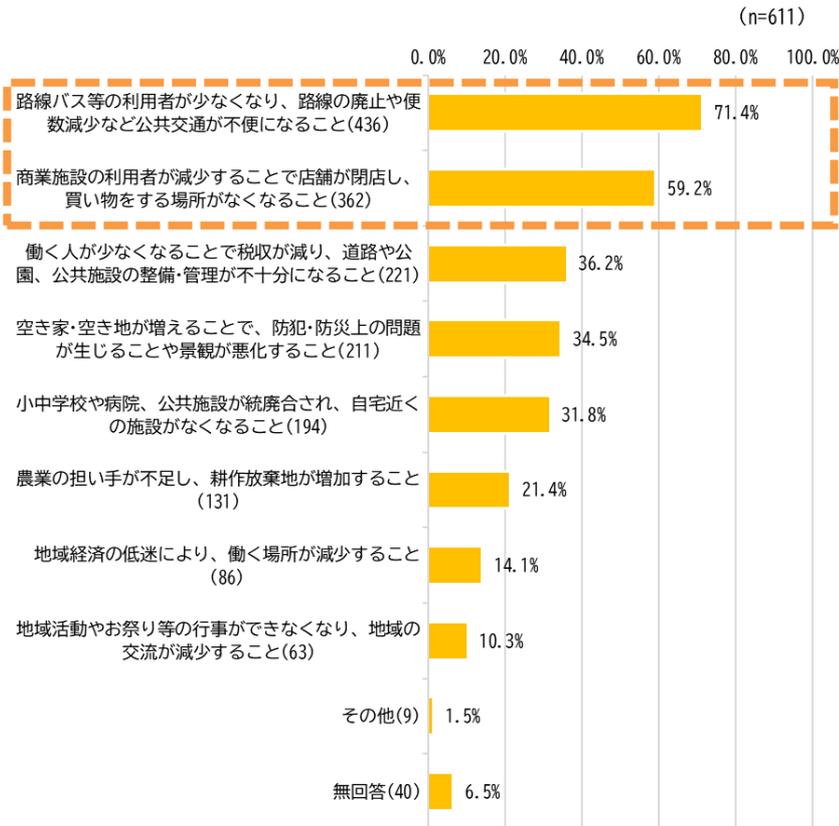
## 2 まちづくりの方向性

### ■ 今後人口減少・少子高齢化が進むことによる長与町のまちづくりに対する影響で不安に思うこと

- 「路線バス等の利用者減少による、路線の廃止や便数減少など公共交通の利便性低下」が71.4%で最も高く、次いで「商業施設の利用者の減少により店舗が閉店し、買い物をする場所がなくなる」が59.2%で回答割合が半数以上となっている。

### ■ 居住する場所に求めるもの

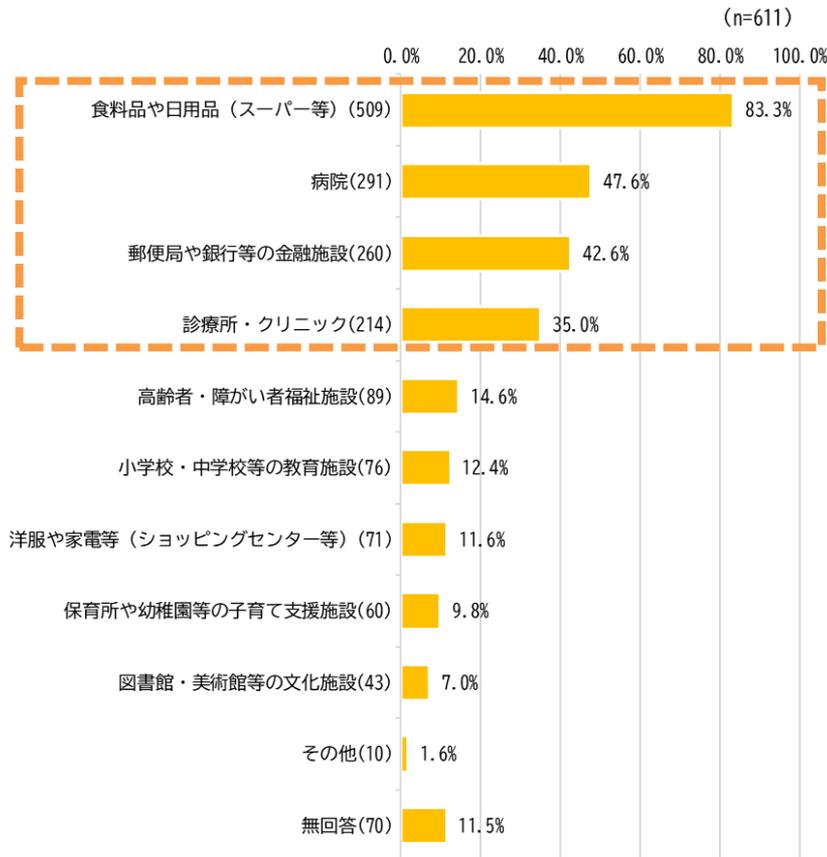
- 「買い物のしやすさ」が68.9%で最も高く、次いで「路線バスなど公共交通の利用しやすさ」が53.7%となっており、回答割合が半数以上となっている。



## 2 まちづくりの方向性

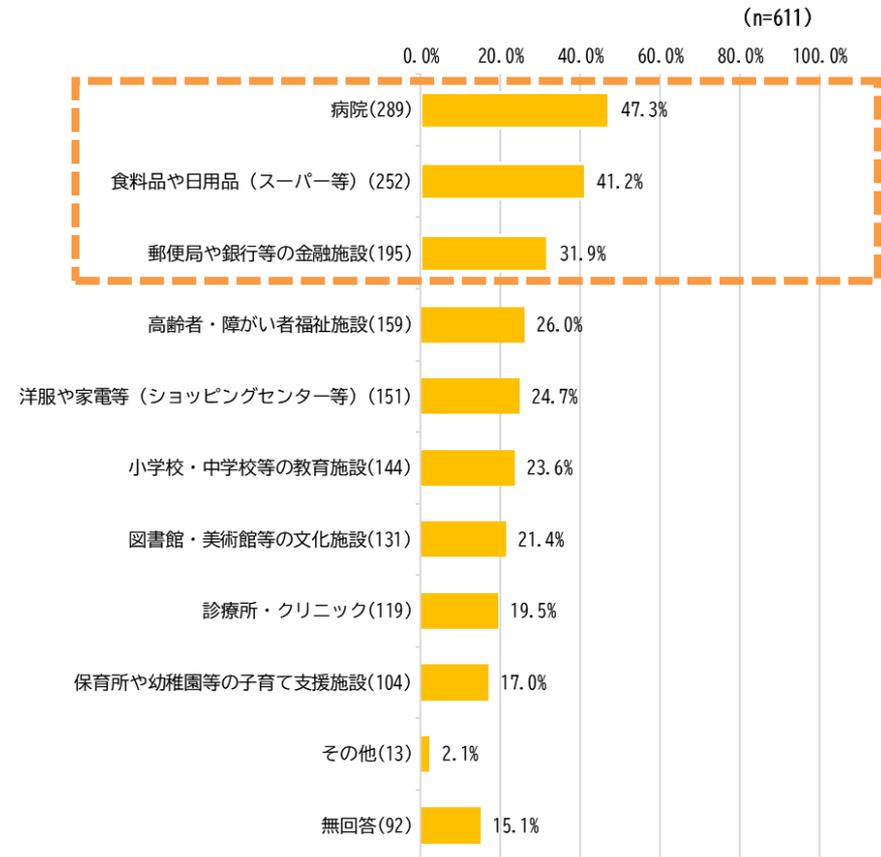
### ■ 自宅の近くに必要な施設（利用する機会が多い施設）

- 「食料品や日用品（スーパー等）」が最も回答割合が高く、83.3%を占め、次いで「病院」47.6%、「郵便局や銀行等の金融施設」42.6%の順に高い。



### ■ 町内に必要な施設（利用する機会は多くないが町内にないと困る施設）

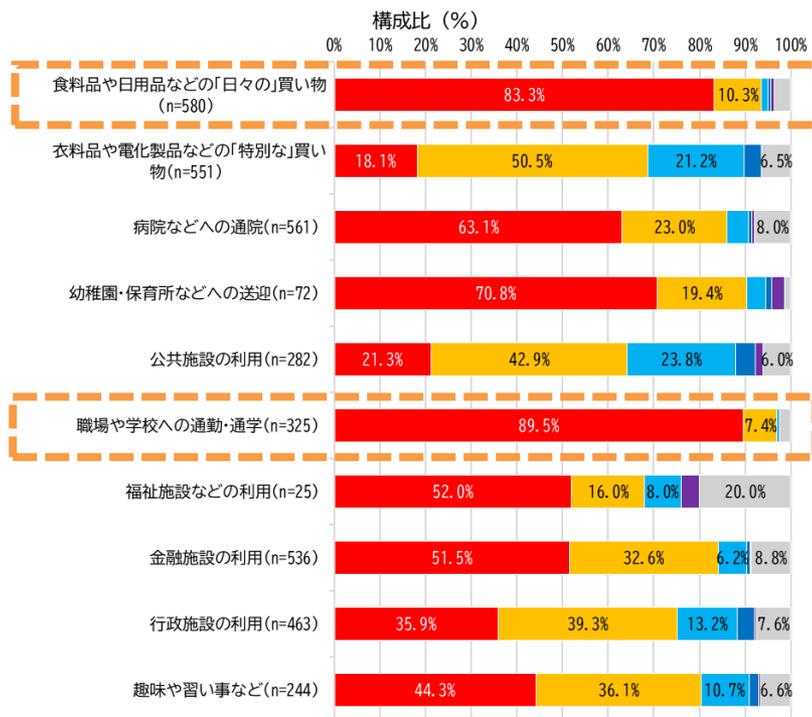
- 「病院」が47.3%で最も高く、次いで、「食料品や日用品（スーパー等）」41.2%、「郵便局や銀行等の金融施設」31.9%の順に高い。



# 3 日常生活における「活動」

## ■それぞれの活動の重要度

- 「職場や学校への通勤・通学」89.5%、「食料品や日用品などの日々の買い物」83.3%の順に高い。
- 「幼稚園・保育所等への送迎」、「病院などへの通院」、「福祉施設などの利用」、「郵便局や銀行などの金融施設の利用」について、「重要」と回答している割合が半数以上を占めている。
- 一方、「衣料品や電化製品などの「特別な」買い物」、「公共施設の利用」は「あまり重要ではない」「重要ではない」と回答した人が20%以上を占めている。

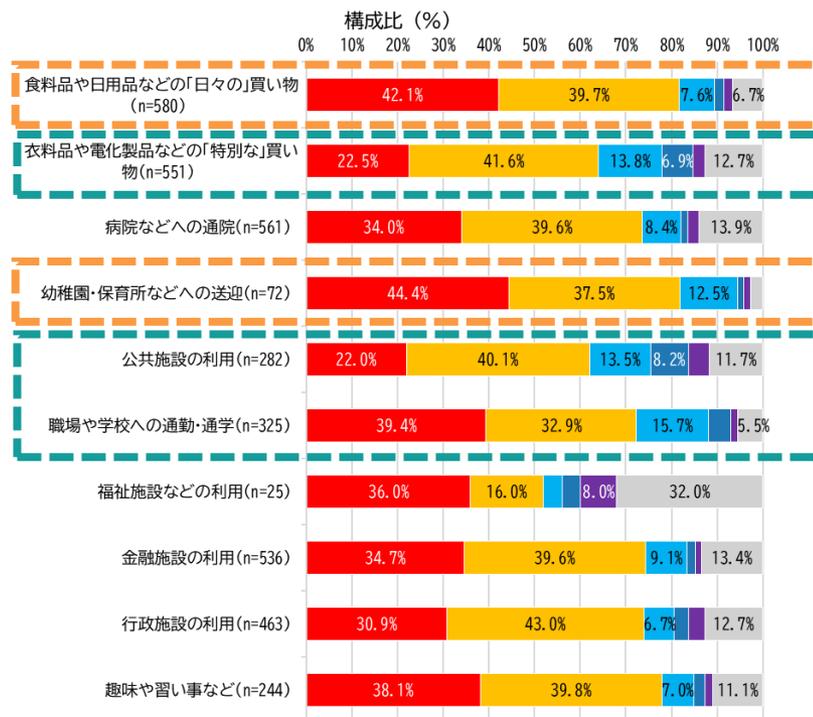


※ラベルは5.0%以上の項目のみ表示

■重要 ■やや重要 ■あまり重要ではない ■重要ではない ■利用しない・わからない ■無回答

## ■それぞれの活動の満足度

- 全ての活動で「満足」「やや満足」と回答した人が、半数以上を占めており、活動別にみると、「幼稚園・保育所等への送迎」、「食料品や日用品などの日々の買い物」、「趣味や習い事など」の順に高い。
- 一方、「衣料品や電化製品などの特別な買い物」、「公共施設の利用」、「職場や学校への通勤・通学」については「やや不満」「不満」と回答した割合が20%を以上となっている。



※ラベルは5.0%以上の項目のみ表示

■満足 ■やや満足 ■やや不満 ■不満 ■利用しない・わからない ■無回答

# 3 日常生活における「活動」

## ■ 日々の買物で最も利用する施設・場所

(n=561)

施設・場所	回答数	割合
マックスバリュ長与店	55	9.8%
マックスバリュ長与中央店	48	8.6%

## ■ 特別な買物で最も利用する施設・場所

(n=551)

施設・場所	回答数	割合
イオン時津店	40	7.3%
アミュプラザ長崎	39	7.1%

## ■ 通院で最も利用する施設・場所

(n=561)

施設・場所	回答数	割合
長崎北徳洲会病院	20	3.6%
こが内科外科クリニック	19	3.4%

## ■ 子どもの送迎で最も利用する施設・場所

(n=72)

施設・場所	回答数	割合
めぐみ保育園	7	9.7%
あやめ幼稚園	7	9.7%

## ■ 公共施設の利用で最も利用する施設・場所

(n=282)

施設・場所	回答数	割合
長与町図書館	53	18.8%
長与町民体育館	20	7.1%

## ■ 通勤・通学で最も利用する施設・場所

(n=325)

施設・場所	回答数	割合
長崎市	134	41.2%
長与町中央地域	25	7.7%

## ■ 福祉施設などの利用で最も利用する施設・場所

(n=25)

施設・場所	回答数	割合
のぞみの杜	3	12.0%
町外の施設	2	8.0%

## ■ 金融施設の利用で最も利用する施設・場所

(n=536)

施設・場所	回答数	割合
十八親和銀行長与支店	111	20.7%
十八親和銀行（支店名不明）	77	14.4%

## ■ 行政施設の利用で最も利用する施設・場所

(n=463)

施設・場所	回答数	割合
長与町役場	292	63.1%
長与町ふれあいセンター	9	1.9%

## ■ 趣味や習い事で最も利用する施設・場所

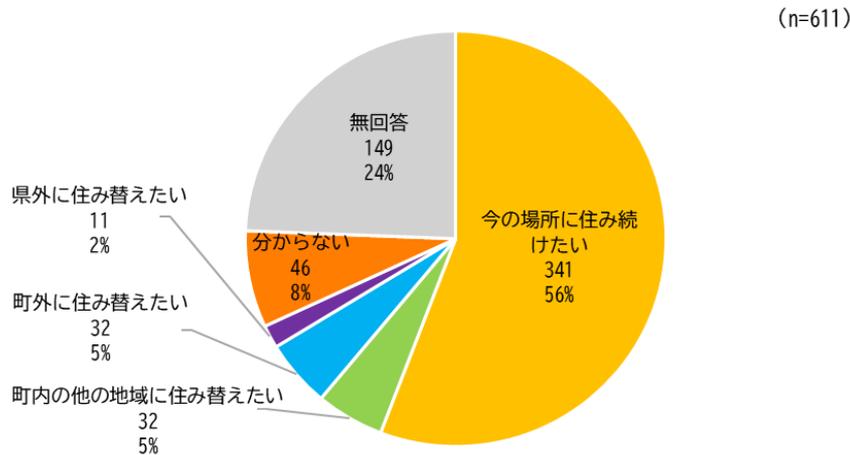
(n=244)

施設・場所	回答数	割合
Ru!Ru!（ルールー）長与スタジオ	5	2.0%
アミュプラザ長崎	5	2.0%

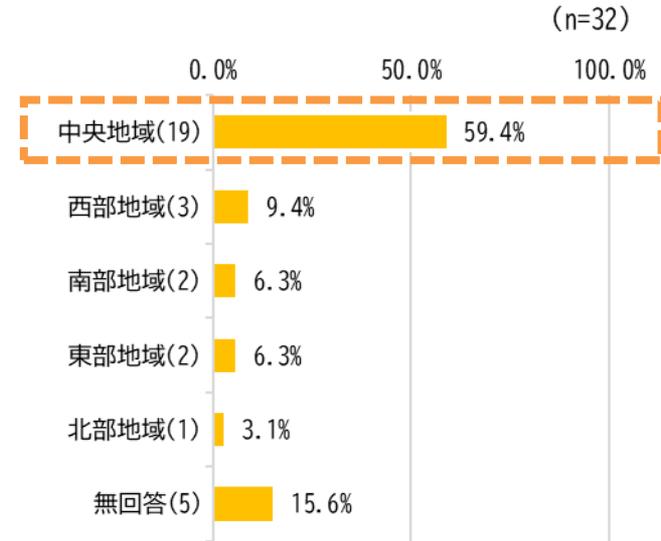
# 4 住み替え意向

## ■ 現在住んでいる場所からの住み替え意向

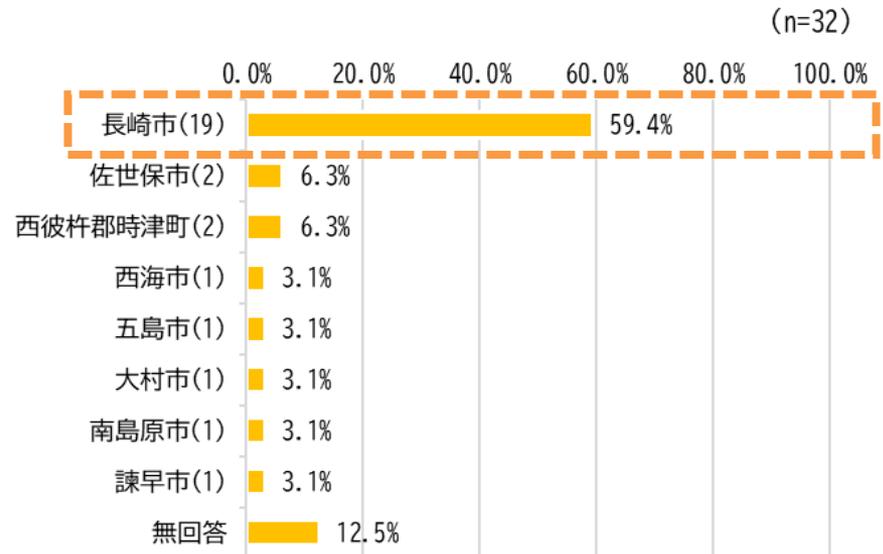
- 「今の場所に住み続けたい」と回答した人が最も多く、56%を占める。
- 住み替えを希望する割合は12%で、町内の他の地域、町外がともに5%となっている。
- 住み替え先は、町内では中央地域が59.4%で最も高い。町外では長崎市が61.3%で最も高く、次いで佐世保市、時津町となっている。



## ■ 住み替えたい地域（町内）



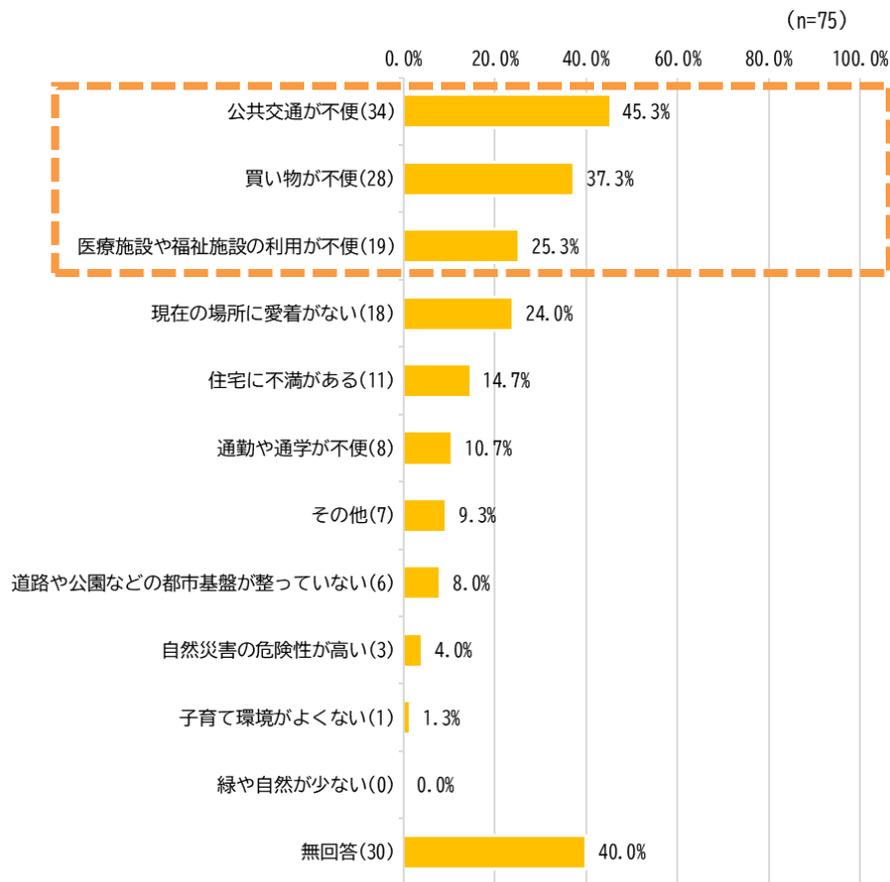
## ■ 住み替えたい地域（町外）



# 4 住み替え意向

## ■ 住み替えたい理由

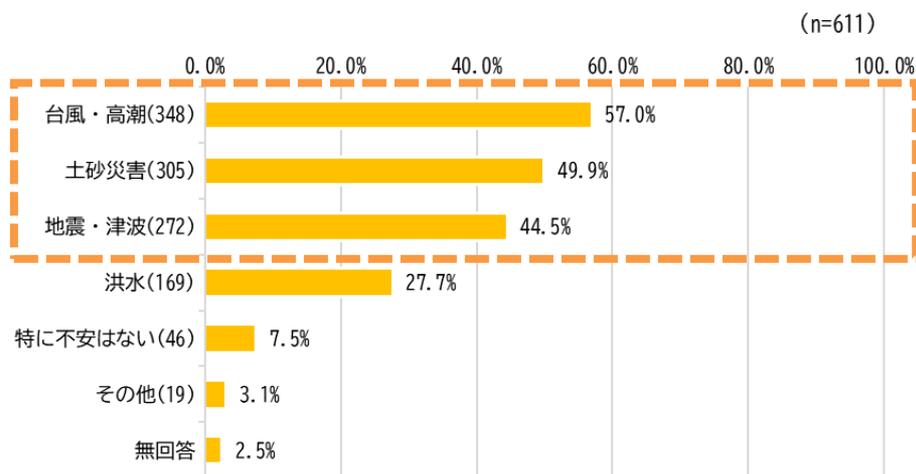
- 「公共交通が不便」が45.3%で最も高く、次いで、「買物が不便」37.3%、「医療施設や福祉施設の利用が不便」25.3%の順に高い。



# 5 防災まちづくり

## ■ 不安に感じる災害について

- 「台風・高潮」が57.0%で最も多く、次いで「土砂災害」が49.9%、「地震・津波」44.5%の順に多くしている。



# 5 防災まちづくり

## ■ 防災情報を見たことがあるか

- 「ある」と回答した割合は76%となっている。
- そのうち、内容もある程度理解している方の割合は29%となっている。

## ■ 自宅周辺の災害リスクや指定避難場所を把握しているか

- 自宅周辺の災害リスクや指定避難場所のいずれかを把握している割合は83%となっている。
- そのうち「両方とも把握している」割合は40%で、「災害リスクは把握しているが避難場所は知らない」が12%、「避難場所は把握しているが災害リスクは知らない」が31%で、避難場所を把握している住民の割合が高い。

